

秋田ばっけの会便り

No.114 (2025年3月号)



KHJ秋田ばっけの会
090-9539-2365
khjakitabakke@gmail.com

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

* * * * *

第104回「集い」 3月9日(日)

10名の参加でした。初めに、2月23日に開催した『つながる「居場所」』についての感想や次回に向けての改善点などを出し合いました。今年は、それぞれの活動を通じたつながりのある方々が参加してくださり、新たな出会いやゆるやかなつながりができたようです。一方、なごやかな時間ではありましたが、物足りなかったという声もありました。そこから、「居心地」の良さとか「安心・安全」とは何か、安心できる場は必要だがそれだけでいいのか、などが語り合われました。

休憩時間には、佐藤代表から他団体の情報が提供されました。[傾聴カウンセリング] (由利本庄市/佐久間玲奈さん)、[トーキーコーヒー] (登校拒否のアナグラム) などです。家族の方から「時代が少しずつ変わってきている。」という感想が聞かれました。

後半、最近参加して下さるようになった秋田市のSSさんからご家族を心配する相談がありました。食事のこと、これからのこと、SSさんとの会話など、それぞれ過去の経験なども踏まえて意見を出し合いました。まずは、SSさんが「集い」で話して楽になること、ご家族にも「楽しかった」ことを伝えてほしいことなどが参加者の共通した思いでした。

もうお一人、NWさんからは、娘さん(当事者)のことで深刻な相談がありました。今、心を決めて現状に具体的に対処する必要があると、参加者皆で真剣に話し合いました。NWさんが独りで抱え込まないように、知恵を出し合っていきたいという思いでした。話して下さって本当に良かったと、皆で感謝でした。

* * * * *

本人の会「居場所」 3月16日(日)

今回の会場は、「居場所」当初によく使用した部屋でした。8名という少人数のこともあり、懐かしいような感じをもちました。2月から3月にかけてのいくつかの会合について、それぞれの概要や感想などを伝え合いました。2/23『つながる「居場所」』、3/12『地域共生社会フォーラム』、3/15『ひきこもり支援県民ワークショップ』などです。様々な事情の中、皆さんに参加のご案内ができずスタッフ中心の参加になってしまいましたが、こうして伝え合うことも大事なことで改めて考えさせられました。そうした話題の中で、「言語化」すること、「趣味」(野球、鉄道、音楽、古着などなど)のこと、「共生」ということばのこと、「生活リズム」のこと、「話す」ということ、「友だち」とはなどなどの話題が次々と。参加者それぞれが今、何を考えどのように生きたいのかが垣間見えた気がしました。

* * * * *

スタッフ運営ミーティング 3月22日に「便り」発送準備を行いました。

秋田ばっけの会 2025年4月の予定

●第105回「集い」

日時；2025年4月13日(日) 13:30~15:30

会場；秋田市役所内センター3階 洋室2・3

●本人の会「居場所」

日時；2025年4月19日(土) 13:30~15:30

会場；秋田市役所内センター3階 和室1・2

●運営ミーティング 4月13日(日)「集い」終了後に予定しています。



《報告・情報・紹介》

★ 令和6年度NHK歳末たすけあい助成事業『つながる「居場所」in あきた』の実績報告書を秋田共同募金会に3月17日提出しました。皆さまのご参加ご協力に感謝申し上げます。

★ 『秋田県地域共生社会官民連携プラットフォーム設立記念地域共生社会フォーラム』が3月12日、秋田市さきがけホールで開催されました。〔秋田ばっけの会〕は幹事会員になっておりますので、事務局スタッフ5名が参加しました。内閣府孤独・孤立対策推進室参与の大西連氏の基調講演「孤独・孤立の現状と課題」とパネルディスカッション（佐々木久長氏、保坂ひろみ氏、安藤郁子氏がパネラー、コーディネーターは佐藤博氏、コメンテーターは大西連氏）をお聞きしました。

それぞれの活動からの異なる視点での話を聞くいい機会でしたし、大西氏の速いテンポのお話に刺激を受けながらの参加でした。詳細は、「集い」等でも話題にしたいと考えていますが、大西氏の「理想の連携・協働とは？」を、難しいけれどもめざしたいという思いを込めてご紹介します。

- ・ 水平的連携～各団体が対等で一緒に創りあげていくことを志向
- ・ 部局（分野）横断的～縦割りをこえてリソース（資源）を共有する
- ・ 多様な主体の参画～多様で包摂的な視点を内包して取り組みを検討
- ・ 自主的な活動に資する～決められたルールでなく即興・偶発を大切にする

←大西連氏の
当日の資料から

★ 3月15日、〔秋田ひきこもりラボ〕の『ひきこもり支援県民ワークショップ』がアルヴェで開催されました。〔秋田ばっけの会〕からは代表・事務局長の他4名が参加しました。60名ほどの参加者が9つのグループに分かれてディスカッションしました。

★ 報道でも紹介されていましたが、横手市 Y 2プラザに〈子ども・若者相談窓口〉という新しい相談窓口が4/1にオープンします。お近くの方はぜひお訪ね下さい。

* * * * *

KHJ関係の情報です。

◇ 3月6日付で、これまで皆さまにお読みいただいていた**KHJジャーナル『たびだち』**が109号（2024年夏季号）をもって発行を終了することになったというお知らせが本部からありました。これまで〔秋田ばっけの会〕の皆さまや関係の皆さまにもお買い求めお読みいただきました。ありがとうございました。

◇ 『**KHJ理事会ニュースNo.7**』（2025/3/10発行）が届いています。

◇ KHJ現理事会の理事が3月31日付で全員辞任することになりました。

◇ 新しい理事候補7名が決まったという連絡が3月11日に本部から入りました。

◇ 全国の区市町村議会における「ひきこもり基本法」意見採択情報（3/24現在）が届いています。

◇ 『**たびだち臨時増刊号**』（3/25付）が送付されて来ています。11月に開催された全国大会 in 石川の特集です。

* * * * *

♡感謝 ・ 秋田市のKK様から会費を、大仙市のIT様、鹿角市のNW様、秋田市のSH様、IT様からご寄付を、秋田市のSY様からセロテープをいただきました。
・ 「集い」「居場所」に参加の皆さまからお菓子などをいただきました。



★ **年会費とカンパへのご協力をお願いします。**

* 切手やコピー用紙、封筒などの物品も大歓迎です。

* 送金は、北都銀行 檜山支店（名義）KHJ秋田ばっけの会 事務局長 妹尾弘
（店番）015 （口座番号）8108428

※通院などで事務局不在の場合もあります。ご連絡やお問い合わせはE-mailか携帯電話のS M Sで。
ショートメッセージ

※ご希望があれば「便り」をメールでお届けすることも可能です。